

質問書に対する回答①
首都圏中央連絡自動車道 阿見稲敷舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	首都圏中央連絡自動車道 阿見稲敷舗装工事 数量計算書(阿見東IC～神崎IC).pdf 3/14	加熱アスファルト安定処理路盤工の合材数量が施工面積に対して齟齬があります(例として、加熱アスファルト安定処理路盤工(A)のt=15cm、31.7m ³ では6519.9tの混合物量は計算上成立しません)そのため、2.金抜設計書.pdfの「43 13-(4)アスファルト混合物加熱アスファルト安定処理路盤工(A)」の数量と合致しません。なにが正しいのかわかりません。正確な数字の提示をお願いします。	「アスファルト混合物 加熱アスファルト安定処理路盤工(A)」の数量について、金抜設計書を正としてお考えください。 数量計算書(阿見東IC～神崎IC)における加熱アスファルト安定処理路盤工(A)のt=15cmの江戸崎地区の数量については、正しくは77.9tとなります。 よって、江戸崎地区の合計が6597.8tとなり、阿見地区の11,758.1tと月出里地区の2692.7tと合わせると金抜設計書の数量の21,049tとなります。
2	首都圏中央連絡自動車道 阿見稲敷舗装工事 数量計算書(牛久阿見IC～阿見東IC).pdf 10/20	レベリング工 アスファルト基層混合物(A)およびアスファルト基層混合物(B)(夜)すべてに密度をかけて合計しても、2.金抜設計書.pdfの数量と合致しません。なにが正しいのかわかりません。正確な数字の提示をお願いします。	「レベリング工 アスファルト基層混合物(A)」及び「レベリング工 アスファルト基層混合物(B)(夜)」の数量について、金抜設計書を正としてお考えください。 数量計算書(牛久阿見IC～阿見東IC)における「レベリング工 アスファルト基層混合物(B)(夜)」の数量について、正しくはt=50(270.6m ² ,13.5m ³)、t=53(391.1m ² ,20.7m ³)、t=55(76.1m ² ,41.9m ³)、t=65(84.5m ² ,5.5m ³)、t=67(737.4m ² ,49.4m ³)、t=75(306.9m ² ,23.0m ³)、及びt=100(1501.4m ² ,150.1m ³)となります。 よって、阿見地区の合計が304.1m ³ 、732.3tとなり、江戸崎地区の8.9tと合わせると金抜設計書の数量の741tとなります。
3	首都圏中央連絡自動車道 阿見稲敷舗装工事 数量計算書(阿見東IC～神崎IC).pdf 9/14	コンクリートシール工「t=50cm、100cm」の表記は50(100)mmまたは5(10)cmの間違いではないですか。	数量計算書(阿見東IC～神崎IC)におけるコンクリートシール工の区分について、正しくはt=5cm、t=10cmとなります。
4	2.金抜設計書.pdf 「4 盛土工 盛土工A」について	特記仕様書にも内容に関する記載がありません。当初設計上、何を想定されているものなのか内容についてご説明ください。	施工箇所については、図面2/6「牛久阿見IC～阿見東IC 平面図 縦断図 標準横断図」の24/50標準横断図(1)等に示すとおりです。 その他の施工に必要な一般的事項については、土木工事共通仕様書2-7をご確認ください。
5	首都圏中央連絡自動車道 阿見稲敷舗装工事 数量計算書(阿見東IC～神崎IC).pdf 数量総括表10/14-14/14の内容について	該当ページの項目で「18-(17)構造物取壊し工」が入っていますが、構造物の取り壊しは単価表には記載がありません。 同様に、11～14ページの内容も単価表に存在しない項目と思われる。内容についてご確認願います。	「構造物等取壊し工」や「撤去工」等については、特記仕様書26-22に示す「率計上工事に関する事項」に含みます。「率計上工事に関する事項」に含む内容については、契約参考図書(率計上項目図面)をご確認ください。